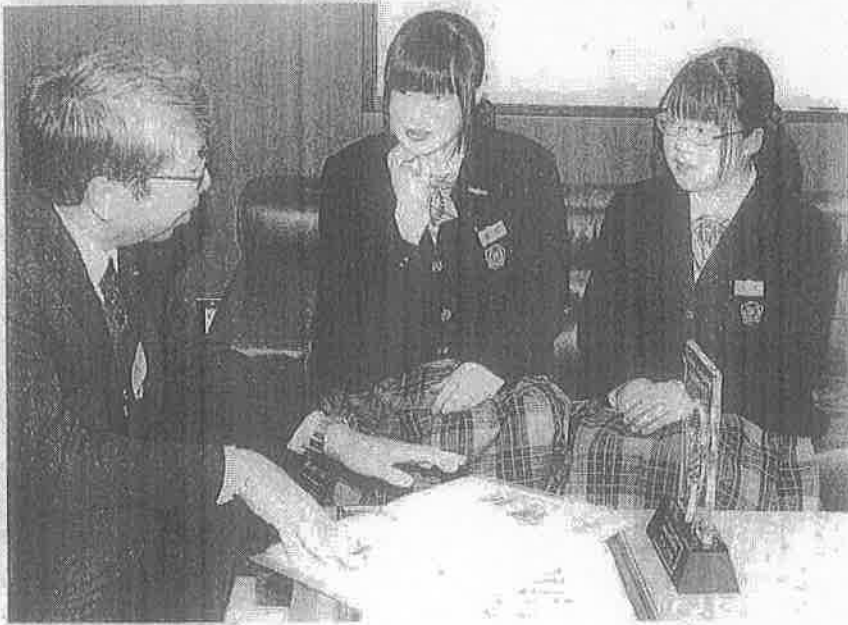


全国最優秀 イソギンチャクとクマノミ共生論文

# 長浜高生 国際舞台へ

## 重松さんと山本さん 米の学生科学フェア出場



米国で開かれるフェアへの参加を清水市長(左)に報告する  
長浜高の重松さん(中央)と山本さん

イソギンチャクとクマノミの共生に関する論文で全国コンクール最高賞を受賞した長浜高校(大洲市)水族館部の1年生2人が、5月に米国ピッツバーグで開催する「学生科学コンテスト国際学生科学技術フェア」に出場することになった。10日に清水裕市長を訪問し、意気込みなどを語った。

2人は重松夏帆さん(16)と山本美歩さん(16)。長浜高の水族館で飼育しているハタゴイソギンチャクとカクレクマノミを観察し、イソギンチャクがクマノミを刺さないのは水中のマグネ

シウムイオンに関係するとの研究成果をまとめた。論文は2014年12月の第58回日本学生科学賞高校の部で内閣総理大臣賞に輝いた。

内閣総理大臣賞の受賞者は例年、国際学生科学技術フェアに参加している。2人は10日、長浜地区の住民と市役所を訪れ、清水市長に参加を報告。重松さんは「多くの人に広めてほしい」と述べて、皆さんの思いをアメリカに持って行きたい」と述べ、山本さんは「不安はあるが楽しんで頑張りたい」と話した。

フェアでは、英語でのスピーチや質疑応答が求められるが、2人は「英会話を習っており英語は好き」と前向きに受け止めていた。(中井有人)



高校生のロボットアメリカンフットボール全国大会で初優勝した新居浜工業高の(左から)吉村君、白石君、三好君、井上君、鎌倉君

### 高校生ロボアメフト全国大会

## 新居浜工業高が初V

# マシンに情熱 激闘制す

自作マシンの性能や操作技術を競う第10回高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会(全国工業高等学校長協会主催)がこのほど横浜市であり、新居浜工業高(新居浜市北新町)のチーム「あかがね」が初優勝に輝いた。県勢では今治工以来7年ぶりの快幸。

試合は、1チーム各遅くまで学校に残り、5台の無線マシンを縦7横3サイズのコートに走らせ、ボールを奪い合って相手ゴールに入れた点数を競う。

新居浜工メンバーは三好辰宜君(18)電子機械科3年、鎌倉朋哉君(17)同、白石征蒔君(18)電気科3年、井上稜太君(15)電子機械科1年、吉村晃君(16)同の5人。

同校は4年連続の出場で、過去3大会は連続ベスト8の強豪。今回は優勝を目指し、全国大会前3カ月は毎夜の取り合いの末、23対

試合は、1チーム各遅くまで学校に残り、5台の無線マシンを縦7横3サイズのコートに走らせ、ボールを奪い合って相手ゴールに入れた点数を競う。

2月22日の全国大会には地方大会を勝ち抜いた26チームが出場した。予選はリーグ戦、決勝はトーナメント方式で行われ、「メンバー全員が緊張し、初戦が一番危なかったが、勝ち切れたことで自信がいった」と白石君。

「卒業直前に最高の思い出ができた」と満足そう。井上君は1年生は「先輩から教わったものづくりの情熱を引き継ぎ、連覇を目指す」と意気込んだ。

(末光徹)